

えんぴん

立川と語ろう 立川に生きよう

January 2017

Écoutez Bien Vol.35 No.386

1

極地のままのオーロラを!



表紙の人 / 立川ひかり保育園三代(二番町)

続・砂川深層 ①

砂川家前に見える砂川分水。
右手に洗い場が残っている。
東側が低く坂になっていて、
昔はここに水車があった。

歴史遺産として残したい 砂川分水

案内人：豊泉喜一氏

関東平野の一角を占める武蔵野台地。多摩川沿線や丘陵部分の湧水周辺以外は、人の生活に欠くことのできない水利の便が悪く、新田開発が進むまでは広大な無人の原野であった。この原野を開拓した新田開発とは、八代将軍 徳川吉宗が進めた「大規模開発享保新田(1716年～)」のことをいうが、砂川新田はそれよりおよそ百年も早い慶長14(1609)年に、岸村^{きしむら}(現武蔵村山市)の村野三右衛門が開発願いを出しており、その2年後の慶長16年に吉野織部之助が現青梅市の新町新田の開拓を始めている。この経過から見ると、砂川は武蔵野の新田開発第1号といってよいのかもしれない。

開拓は始まったものの生活に必要な水利がなかったため、砂川村の開発が本格的に始まったのは、玉川上水が完成した承応2(1653)年、その4年後の明暦3(1657)年に砂川分水が通水してからである。村野三右衛門が開拓願いを出してから48年後のことである。砂川分水は、村を東西に貫く五日市街道の北側を流れ、街道の両側に新田集落独特の家並みを形成した。この分水は生活用水として許可されたもので、灌漑用水としての使用はできなかった。

井戸は、寛延3(1750)年の村明細帳に「組頭九名掘り井戸九カ所」とあり、各部落に1か所共同井戸があったと推測される。昭和20年代まで各所にこの井戸が残っていたが、今ではほとんど姿を消し、現在2か所わずかにその名残を留めている。砂川は地下水が深く、井戸はおおよそ10mから15m、深いところでは20mも掘らなければ水が出ないため、各戸で井戸を掘るのは容易なことではなかった。安永6(1777)年砂川分水に水車できたとの記録があり、水車が最も多くあったときは8か所あって、精麦、製粉の他、製糸業の動力としても活躍していた。

砂川分水は各戸に井戸と水道が普及する昭和初期まで、およそ300年間砂川の生活を支えてきた川である。その分水も今では暗渠になり、五日市街道の舗道となってその姿を見ることはできない。砂川三番にある流泉寺の北側付近に、砂川分水の原型が残っているのので、せめてこの場所だけでも今日の砂川を育んだ歴史遺産として保存しておきたいものである。

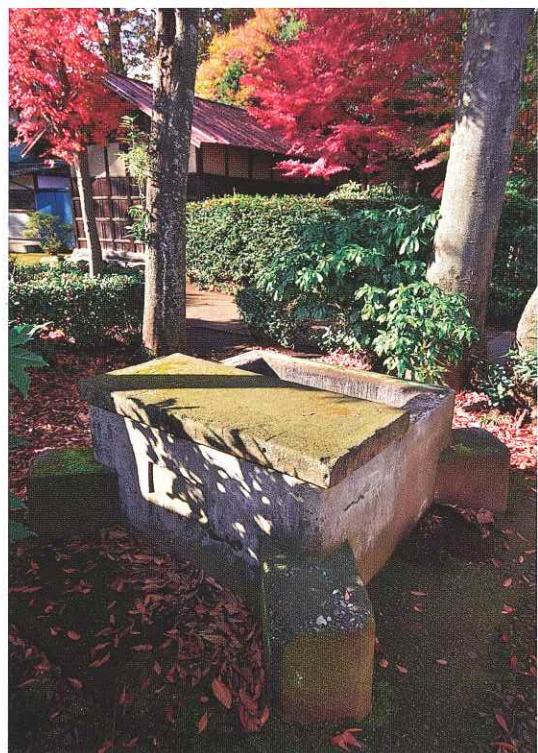
この川は川幅1.5mほど深さ7～80cmであったが、子どもが落ち溺れて亡くなったり、酒に酔って川に落ちた話など、今では懐かしい思い出である。



玉川上水からの取水口。
右側が柴崎分水、左が砂川分水。



五日市街道からも見える洗い場の名残り。



現存する砂川六番、中野さんのお宅に残る古井戸

日本人のこころ

五七のリズムは日本人の精神活動

文学部、ことに日本文学科が消えようとしている。
日本人が日本の文化を知らなければ、
たとえ外国語をマスターしても何を語るのか。

文系は不要か

文学研究を取り巻く状況はとてつもないです。若い研究者が増えていかない。それはひとえに就職先がないという現状によるものですね。日本のプレゼンスが下がっているということも理由に挙げられます。昨年には、「文系不要論」が打ち出された。文系は要らないということですが、本当にそうでしょうか。

少子高齢化が進み、大学そのものの存続が難しくなる中、日本文学科は危機的状況にあります。文学をやっても意味がないと理解されている。国文科や仏文科をつぶして介護に換えてしまう大学もあります。介護ももちろん大事です。でも文学研究と交換可能なものでしょうか。文学研究、特に日本文学研究は自分の国のことをよく理解するために必須なものです。たとえば江戸時代の女性の地位は決して低くはなかった。むしろある程度高かった。家計を握っていたのは女性だということを、今、日本人がきちんと理解しているのでしょうか。明治以降、日本は男尊女卑になってしまったので、江戸時代もそうだと思う。やはり文化をきちんと知り続けることは大事だと思います。

文系を存続させるために

文系は不要だと言われる反面、一方で「百人一首講座」などを開催するものすごくたくさんの方が参加されます。高齢者を中心に、社会での需要は増えています。団塊の世代が退職を迎えて、以前は女性が多かったのですが、男性も増えてきています。研

究したい中年以上の人は男女を問わずたくさんいる。

こうした背景を踏まえて、大学共同利用機関である国文研は、言い換えれば研究者のプロ集団なわけですから、文系存続のひとつの方策として「研究する面白さ」を訴えていくべきではないかと考えています。

今回の国文研インタビューシリーズでは、今西館長を始め、ディディエ・ダヴァン先生、クリストファー・リーブズ先生は「日本文学のグローバル化」を話されましたね。山本和明先生は「古典籍を使つての異分野交流」を話された。それらもちろん日本文学研究を存続させていくための肝要な方策ですが、私は3つ目の方法として、やはり王道である「研究の面白さ」を伝えることが大事ではないかと考えています。理系でよくやっているサイエンス・カフェを、実は文系でもやっていますが、最先端の研究を広くみなさんに分かりやすくお伝えしていくのです。

定説をひっくり返す、それが研究の醍醐味

私は後鳥羽院を研究しています。万葉集、古今和歌集、新古今和歌集という三大歌集のひとつ、新古今和歌集は後鳥羽院が作成を命じました。撰者は藤原定家。「後鳥羽院と定家研究」という本があるくらいこの2人の関係は面白いものです。定家は非常に優秀な人で、後鳥羽院が定家に惹かれて和歌を好きになり、そして新古今を構想した。ふたりはとても親密でしたが、撰者、つまり編集者である定家の権限までも行使して、後鳥羽院は自分で編集してしまっ

ふたりはやがて対立し、定家もプロですからプライドが許さない。後鳥羽院に反発し、仲が険悪になり、ついにはひどい喧嘩になってしまったわけです。そういう状況下で後鳥羽院は歌論『後鳥羽院御口伝』を書いた。「定家はすばらしいけれどひとつだけ欠点がある。それはこの人の歌には心がない」と。

定家も歌論をいくつも書いています。たくさんある歌論の中で「有心」を説いた『毎月抄』だけが本物か偽物かで長い議論になっていて決着がついていない。果たしてこの『毎月抄』は本当に定家書いたものかどうか。その議論に私は、「毎月抄は偽物である」という証明をして、ほぼ決着がつかしました。そう、おっしゃる通り、今までの日本文学史を書き換える必要がありますね。間違い探しのようなのですが、これが研究の楽しさ、面白さではないでしょうか。高校の教科書でも解説書でもね、お父さんの藤原俊成は「幽玄」、藤原定家は「有心」という理念を説いていると書いてあります。定家が「有心」を説いたことは定着している。それをひっくり返す。そのことこそ研究の醍醐味ですよ

ね。「有心」、つまり心があるという理念は問題の『毎月抄』にだけ出てきます。他のたくさんある歌論の中で一度も「有心」を説いていない。他にも「稽古しなさい」とか「失敗をしてはいけない」ということも、この『毎月抄』だけで説いている。それでも「偽物」であるという証明ができなかったのが、今までは教科書にも記載されてきたのです。それほどよくできた「偽物」なのです。

私が『毎月抄』は偽物だと断定した一番

寺島恒世氏

寺島恒世氏：国文学研究資料館 教授 副館長。出身は長野県。2017年3月に定年退官を迎える。専門は和歌文学で、この度の『毎月抄』(藤原定家)は定家の子孫の手になる「偽物」であるという発表は、日本文学史を書き換えるほど画期的なことだった。今西祐一郎現館長の任期満了退官により、2017年4月からロバート・キャンベル氏が館長としてその任に就くが、この人事に大きく貢献したのも寺島先生だ。

の理由は、なによりも「偽物が作られた動機」です。後鳥羽院が「定家には心がない」と言った。こう批判されて一番困るのは誰でしょう? そう、子孫です。定家の子孫といえば二条家、京極家、冷泉家と広がって、中世全体を覆うのですが、中世から見ると定家は絶大な「権威」でした。この「権威」が天皇によって批判されるというのは非常にまずい。「定家には心がない」という批判に対して、「いいえ、定家はちゃんと心を説いていますよ」という事実があればいいわけです。つまり『毎月抄』は定家の時代より後に子孫によって書かれたものが、定家の時代に遡って設定された、という「偽物」なのです。定家は後鳥羽院によって謹慎、蟄居閉門になりますが、『毎月抄』はこの謹慎の少し前に書かれたことになっています。まさに「権威」として威信を保つ後代の作であると言えるわけです。この時代にはたくさん「偽物」が登場しますが、ほとんどが定家の権威を借りて自分の活動を広めようとするものです。ところが、『毎月抄』だけは徹底的に定家書いたものとして、ゴーストライターは黒子に徹している。非常に珍しい「偽物」なのです。

五七が刻む生活のリズム

近代短歌に対して、古典和歌には制約とルールがたくさんあります。それを知らないと読み解けない。私が『毎月抄』が偽物だと発表した学会で、もうひとつとても面白い発表があった。久保木哲夫先生とおっしゃる大先輩の研究発表で引かれた「みなそこにはるやくらむ みよしのの よしのかはに かはづなくなり」という歌です。漢字を当てて解釈していくと、注釈書も研究書もすべて、「春や来るらむ」つまり「春がもう来るだろう」と訳しているが、それは間違いであると。古典文法は結構難しいです

よね。「くるらむ」の「らむ」は推量の助動詞で、基本は終止形に接続します。けれども「くるらむ」の「くる」がもし「来る」なら、それは終止形ではない。古文だと終止形は「来」。つまり「春がもう来るだろう」という意味合いなら、「春や来るらむ」でなければならない。そう、「くるらむ」は他の動詞なんです。終止形が「くる」になる動詞って思いつきます? 考えてみてください。わかりますか? …当り! そうなんです。「暮れる」なんですよ。つまり「水底に春が暮れるだろうか」ですね。蛙は晩春から鳴き始めますし…。これもすべての注釈者、研究者が誤っていたということになりますね(笑)。

面白いでしょ? ではなぜ間違えたか。現代人にとっては、春は来るものですよ。童謡も「春よ、来い」、ユーミンも「春よ、来い」って歌ってますし。でも、待ち遠しい春の到来を思い描く言い方は、古典の時代は「春や立つらむ」でした。明治以降、「立春」にちなむ「春立つ」という伝統的な言い方は忘れられ、春は「来る」だけになった。それで「春や来るらむ」とつい間違えちゃったんですね。どうですか? 同じ日本語ですが、古典の時代と現代の違いをはっきりみてもうと文化とは面白いなど感じるのではないのでしょうか。「Spring has come」は「春立ちぬ」の訳でもあるのです。

グローバルな社会になっていくのはいいことだけれど、フランス人やイギリス人が日

本の五七のリズムをどういう風に受け取ることができるのか。それは、やっぱりよくわからないですよ。意識はできても、「♪みなそこに〜 はるやくららん〜みよしのの〜」と、こういうリズムが本当にわかってもらえているかどうかはわからない。もらえているのかもしれないし、いないのかもしれない。今後、国際貢献していくときには、やはりこのリズムも考えていく必要があると思いますね。五七のリズムは、日本人の精神活動に深く結びついており、すべて根源的には和歌の要素と無関係ではないと思います。雅にたいして俗がある。それらが深め合って第三者が生まれてくる。本丸の雅である和歌を学ぶと、五七のリズムが心に響く。感覚、感性の問題ですが、この感性を解き明かそうとするとところに日本文化を見直すエネルギーが生まれ、いかに文系が大事であるかが理解できてくるのではないのでしょうか。文化の重要性を、日本文学の古典が言い続けられないでどうする、と思っています。



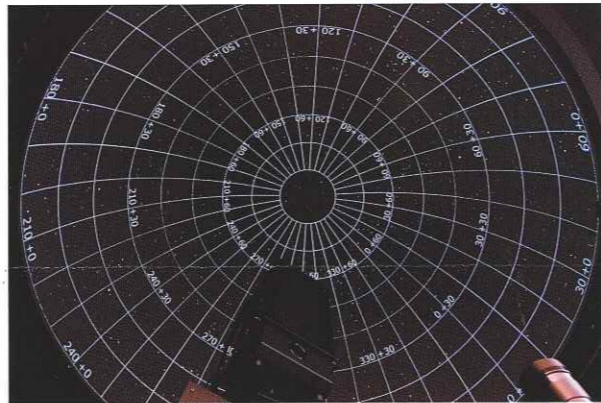
極地のオーロラをそのままに

南極・北極科学館のオーロラシアター

オーロラシアターがリニューアルした
コニカミノルタプラネタリウムの技術を結集させた
最新鋭単眼式デジタルプラネタリウム「Media Globe Σ」登場!



撮影協力：新座市児童センター



緑町にある国立極地研究所 南極・北極科学館。2010年にオープンした時から、話題のひとつがオーロラシアター。南極と北極で自動観測しているオーロラ画像を使って、立川にいながらオーロラに包まれる雰囲気に入ることができるというのがここ。全天ドームで1年中オーロラを見られる国内唯一のオーロラシアターが、2010年のオープン以来、6年を経てリニューアルされることとなった。

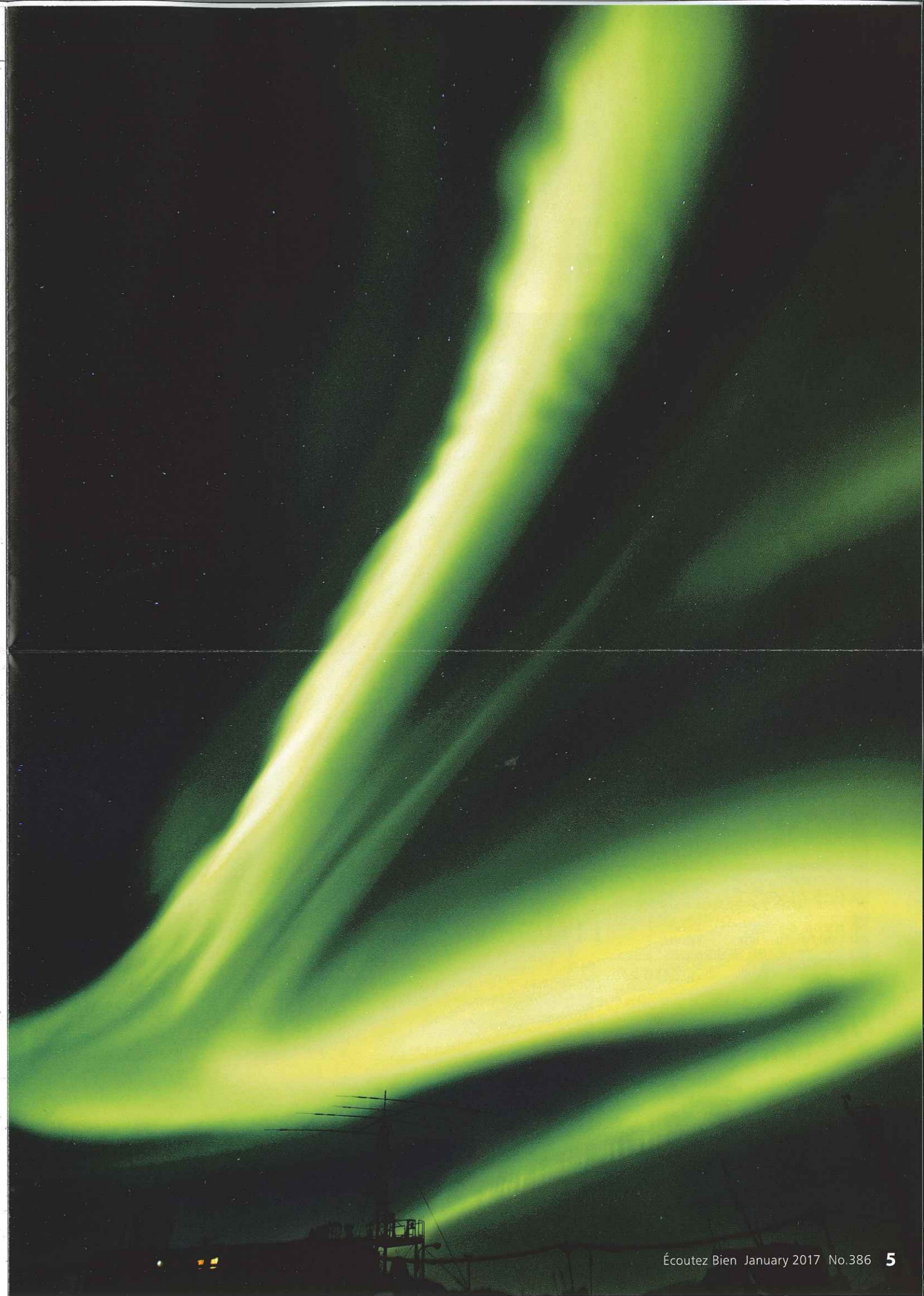
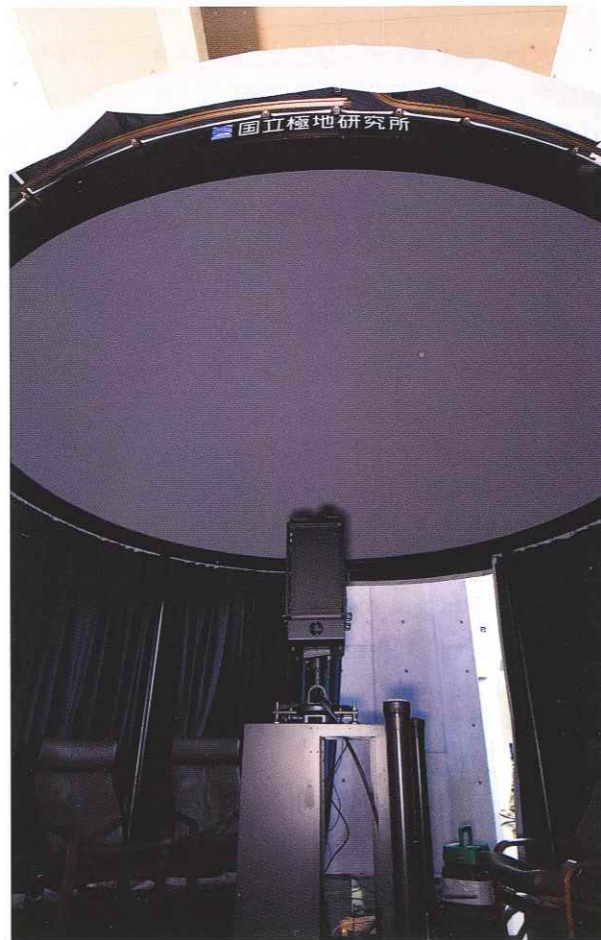
オーロラは、人間が肉眼で直接見ることのできる最も身近な宇宙現象。太陽から飛んできた電気を帯びたプラズマ粒子が地球の磁石に取り込まれ、極域の超高層大気にぶつかって光るオーロラ。磁場と大気を併せ持つ地球が「生命の星」であることの証だ。極地研のオーロラシアターの映像は、すべて研究用に観測されたオリジナルデータで、他で観ることのできないものだ。

その美しいオリジナルオーロラ映像を映し出す投影機が新しくなった。コニカミノルタプラネタリウム製 単眼式デジタルプラネタリウム Media Globe Σ1.5KSE。国内3台目の納入となった。コントラストがよくなりグッと黒が締って見える。解像度が1.5倍になったオーロラの映像は、直径4mのドームに、より鮮明に美しく映し出される。まさにオーロラに包まれる空間だ。

1月末に一般公開が予定されているが、最新で最高、IT技術の粋を極めたといわれるオーロラシアター。公開日が待ち遠しい。

南極・北極科学館

開館時間：火～土 10時～17時
休館日：日、月、祝、年始年末



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 緑町・泉町・西砂町・上砂町・砂川町
柏町・幸町・若菜町・栄町 のお店です。

- 緑町**
 - 国立国語研究所 540-4300
 - 国立極地研究所 512-0652
 - 南極・北極科学館 512-0910
 - 国文学研究資料館 050-5533-2900
 - 花みどり文化センター 528-1751
 - 昭和天皇記念館 540-0429
- 泉町**
 - インヴォアラレ・ルーデンス
 - 立川ルーデンステニスクラブ 525-9677
 - blooming bloomy 555-と立川立飛店 548-1215
 - 東京消防庁 立川消防署 526-0119
 - Café はあもにい 512-7810
- 西砂町**
 - パティスリー プルミエール 531-4835
 - 砂川庵 甚五郎 531-6788
 - 西砂歯科医院 531-4129
- 上砂町**
 - B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250
 - fresh shop スーパーはしもと 536-2331
- 砂川町**
 - みのーれ立川 538-7227
 - JA 経済センター 立川店 536-1824
 - JA 東京みどり 立川支店 536-1821
 - 陶工房 己流庵 537-6102
 - たましん 砂川支店 535-4411
 - 珈琲豆焙煎工房 まめ吉 535-1070
 - BREAD & Sweets マニシェール 537-2202
- 柏町**
 - café de La Boum 534-6541
 - 山梨中央銀行 立川支店 536-0871
 - 株式会社 セレモア 534-1111
 - 超こってりらーめん パワー軒 535-1665
 - H.works 537-7763
 - ベーカリー リオンドール 535-4882
 - (有) まつい測量 534-4411
 - ピーコック 玉川上水店 538-3861
 - 菅家医院 536-4602
- 幸町**
 - 立川農産物直売所 536-2439
 - いなげや 立川幸店 537-1820
 - たましん 幸町支店 535-5311
 - 中国料理 SANFUJI 536-3813
 - 西武信用金庫 幸町支店 537-3101
 - お米屋さん 大黒屋 536-0851
 - (株) 松浦商事 536-6001
 - 江戸前・富山の魚と酒 緑寿司 536-4800
 - 至誠キートンホーム 538-2323
 - とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611
 - ドイツ製法ハム・ソーセージセーフ工房 535-5009
 - 和洋菓子 たちばな 537-0347
 - BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912
 - 在宅療養支援診療所 立川在宅ケアクリニック 534-6964
 - 古楽の小屋 ロバハウス 536-7266
- 若菜町**
 - レストラン サラ 534-0602
 - 浅見内科医院 537-0918
 - スーパー ヤオコー 538-1711
 - ひとひとつ 507-7352
 - まんまる助産院 ひまわりハウス 534-9877
 - ありた整骨院 534-1622
 - カフェ タイニーガーデン 507-1346
 - カフェ・レストラン てたく 536-5788
- 栄町**
 - たましん 栄町支店 536-9711
 - いなげや 立川栄町店 523-7201
 - ニュースサービス日経 立川中央 522-4507
 - チーズ王国 本社 513-4101
 - 高橋酒店 522-4479

zorakugajo
真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー！：529ch
スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。
J:COM 多摩：111ch
放送時間については番組表をご確認ください。
www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

酉年に白い軍鶏!

東京烏骨鶏と東京軍鶏の産地でもある立川。伊藤養鶏場で珍しい白い軍鶏が見つかりました。幼鳥のうちにはあまり目立たないのだそうですが、だんだん大きくなるにつれて白さが際立ち、とうとう真っ白になったそうです。出荷されるケージに入っていたのを、来年は酉年だからおめでたいと伊藤さんが別ケージに。都内の行列ができる有名店で料理されちゃうところ、羽の色で命拾いしちゃいました。



ジュンク堂に住んでみた!

立川高島屋内にあるジュンク堂。本屋さんです。そこで10月29日(土)~10月30日(日)に『ジュンク堂に住んでみる』ツアー2016が実施されました。売り場面積1000坪・蔵書数約100万冊、まさに本に囲まれた空間で一晩過ごす楽しい企画です。2014年の東京、2015年の大阪に続く3回目の今回。コラボ企業からはお泊りに便利なエアーマットや着たまま歩けるあったかラグやルームシューズ、夜中におなが空いても大丈夫と食べ放題のお菓子やお茶が提供され、「お菓子をつまんだら手が汚れちゃうのでこのお箸を使ってね」という立川の企業・壽屋の「待着」まで揃っていました。抽選で選ばれた5組10名のお客さま、思い思いに本を手に取り、読んだりめくったり、一通り美味しいお菓子も召し上がって、相当楽しまれた様子でした。私も参加してみたいと思う方、twitterでジュンク堂さんをフォローされることをお勧めします。

涙なしでは観られない

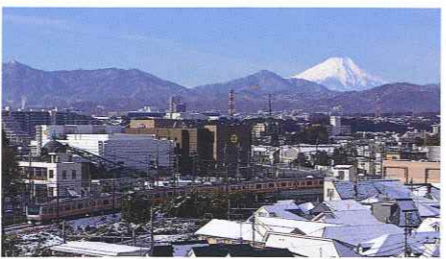
『湯を沸かすほどの熱い愛』というタイトルの映画です。監督は中野量太さん。主演の宮沢りえさんと同い年ですがほぼ無名に近い。でも、とてもいい映画でした。監督の描く家族。観る人それぞれ心に響く部分が違うかもしれませんが、誰もが涙する瞬間があるはず。中野監督が11月5日(土)、シネマシティにいらっしゃいました。お風呂屋さんはどうしても舞台にしたかった場所なのだから。見ず知らずの人たちが裸で混じりあう、なんとも不思議な空間だと。たしかにそうかもしれないですね。そこが舞台のこの映画、よろしかったら皆さんも涙を流しにいらっやしませんか? 1月から上映の劇場もありますよ。



中野量太監督

11月の白い立川

54年ぶりだったそうです。1962(昭和37)年にも11月に雪が降ったということですが、その前はさらに20年前だそうで、1942(昭和17)年にも早い初雪が降ったんですね。まだまだ紅葉が残る立川の真冬の装い。それはそれできれいでした。10月26日の富士山初冠雪を話題にしようと思っていたのですが、やっぱり今回はこれですよ!



秋空の下、楽市開催

11月5日(土)、6日(日)に楽市が開催されました。いいお天気でしたね。こうしたイベントはお天気がすべてを左右しますが、市民祭、商人祭、農業祭がひとつになって、とても楽しい2日間。まさに「楽市」でしたね。



消防フェス2016 in 立川

11月9日(水)、朝のうち曇っていた空も、やがて秋らしい高い空になりました。ららぽーと立川立飛で開催された東京消防庁主催の「消防フェス2016 in 立川」。元サッカー日本代表の武田修宏さんが一日消防署長になって、大規模消防演習の指揮をとり、その後トークショーもありました。立川消防署はもちろん、地元立川市の消防団やららぽーとの自衛消防隊なども参加しての演習は臨場感あふれるもので、こうした演習の大切さを改めて思われました。



流鏝馬神事の下見です

2017年11月19日(日)に立飛みどり地区で流鏝馬神事が行われるそうです。2016年11月9日(水)の午後、流鏝馬小笠原流三十一世 小笠原清志さんと嫡男で弓馬術礼法小笠原教場 理事長 小笠原清基さんが立川にいらっしゃいました。東京都内でこの広さ、駅に近いのに緑あふれる環境に驚かれ、多くの方に流鏝馬神事をご覧いただきたいと話しておられました。どなたでもご覧いただけること、えくてびあんで当日まで、順次様子をお伝えしてまいります。



中央が小笠原清基さん、右は立飛 HD の村山正道社長

おじゃましま〜す! [49]
ベーカリー&カフェ
BAKU BAKU (麦²)

立川高校のすぐ近く、立川福祉作業所の利用者さんも一緒に働いているパン屋さん。2016年5月にリニューアルオープン、安くておいしいパン屋さん評判は上々です。リニューアル前に好評だったパンを中心に、ハード系、ふんわり系、スイーツ系と種類も豊富。材料がよく、くるみやチーズをふんだんに使っているので味は満足! 1つひとつが小ぶりですから、いろいろな味を楽しむことができます。11時から15時までは熱々焼ききたて石窯ピザもいただけます。コーヒー好きがおいしいねという自慢のホットコーヒーと一緒に、イトインでいかがでしょう。フロアの店員さん、元はみなさんBAKU BAKUのお客さま。BAKU BAKUファンの方々です。BAKU BAKUらしい優しさは店員さんはもちろん、テーブルや椅子、お手洗いにまで広がっていて、お子連れやシニアの方々などにも人気があります。明るく広く入りやすい。おいしいだけじゃない、それがBAKU BAKUの魅力です。テラス席はペット同伴可ですし、駐輪場も駐車場もあります。安心して買いものできます。まさに「街のあったかいパン屋さん」ですね!

ナポリ風石窯ピザ。味は二種類あります。

焼き立てがどんと並びます。

焼きたてピザあります

〒190-0023
立川市柴崎町3-13-11
TEL 042-527-2721
営業時間
月曜日~金曜日 10:00~18:00
土曜日 10:00~17:00
定休日 日曜・祝日(臨時休業あり)

えくてびあん®
1月号 第35巻 通巻386号

平成29年1月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

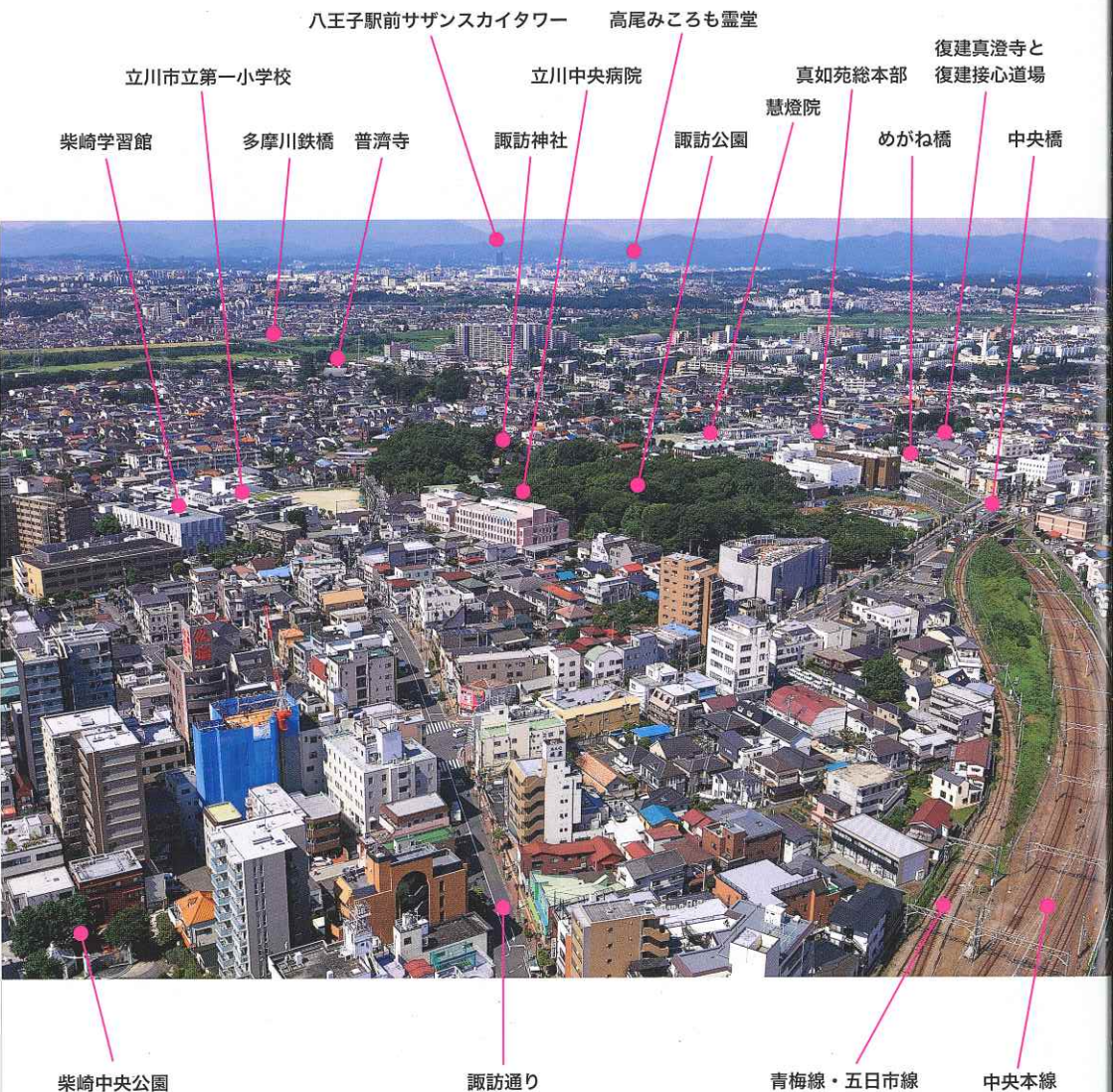


新しい「立川」をご紹介します

③

冬の寒い朝ならもっときれいに見えるのでしょうか。雪をかぶった富士山ももちろん見えます。あっちもこっちもよく見えて、やっぱり立川は多摩の中心ですね！（2016年7月撮影）

[立川駅より西南方面]



八王子駅前サザンスカイタワー 高尾みこころも霊堂

立川市立第一小学校

立川中央病院

真如苑総本部

復建真澄寺と
復建接心道場

柴崎学習館

多摩川鉄橋 普濟寺

諏訪神社

諏訪公園

慧燈院

めがね橋

中央橋

柴崎中央公園

諏訪通り

青梅線・五日市線

中央本線